

みんなに伝える平和への想い

ペンネームまたはイニシャル
S. K



毎年夏になると、広島、長崎の平和記念式典が放映され、子供達の平和宣言を毎年聞いています。

被爆者の平均年齢が80歳を超え、生きている方達の戦争の無い世界への願いは切実だと感じます。

昨年被爆体験談をピースクラブ報告会で聞いた時は、心をえぐられるような悲しみ、強い怒り、現実の空しさを痛感しました。今年8月に、広島地裁で（黒い雨）訴訟の原告に、被爆者健康手帳の交付を命じる判決が出ました。しかしながら、国側は、科学的な知見に基づいた内容では無いと認めませんでした。国は何を守ろうとしているのか悲しくなりました。

現実的な取り組みとして、子供達とピースクラブ活動に参加したり、今回の企画などのアクションを続ける事。組合員として、知る事、参加する事。

母親として、身近な絵本の読み聞かせを通じ、子供達に平和を願う希望の種を蒔いていけるような、出来る事をやりたいです。

